

□発行 / 新潟県松之山町役場 □編集 / 総務課広報係 □印刷 / あかつき印刷所



▲東京、名古屋から正月帰省バス17台に623人が無事帰郷に正月帰省され—— 帰省者と出迎いの家族たち

## 東川小体育館・克雪管理センター建設(浦田)を重点に ——ことしの予算編成はじまる——

人口のうごき  
1月1日現在  
( )内は前月と比較  
総数 6,379人 (-17人)  
男 3,121人 (-5人)  
女 3,258人 (-12人)  
世帯数 1,647 (-3)  
出生0人、死亡12人

一月七日佐藤町長から、昭和四十九年度予算編成にあたり、職員に、困難な社会状況の中にあり、物価高、物不足、国の総需要抑制、地方交付税の伸び率減などで、新規事業は見あわせしなればならない、難儀な年にありますので、なるべく、消費節減をはかり、ことしの予算編成にためてもらう方針が示されました。



# 12月定例議会から



12月定例議会は、さる12月24日に招集され、昨年の大干ばつに伴なう農地災害復旧事業補正予算9千万円を始め、最近の社会経済の発展と、地域社会の著しい変ぼうは、物価高、物不足等で、町行財政を年々質、量ともに増大させるにいたり、特別職の報酬条例の1部改正条例など、議案11件、議員提出議案1件、請願1件、陳情3件、決議案1件が審議され、いづれも原案どおり賛成多数で可決されました。

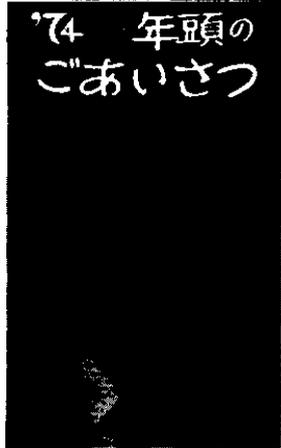
一般質問では、久保田勢策、相沢善一、滝沢重介の3議員が一般質問に立ち、除雪、燃料、干害対策について質問があり要旨は次のとおりです。

## 特別職報酬額改正

(3役、議員以下非常勤の特別職の報酬は1) 月から次のように改正されました。

町長…(月額)	183,000円を	220,000円に
助役…(〃)	152,000円を	176,000円に
収入役…(〃)	146,000円を	167,000円に
教育長…(〃)	120,000円を	143,000円に
議長…(〃)	42,000円を	55,000円に
副議長…(〃)	30,000円を	40,000円に
議員…(〃)	27,000円を	35,000円に
農業委員長…(年額)	52,000円を	67,600円に
〃 委員…(〃)	32,000円を	41,600円に
教育委員長…(〃)	52,000円を	67,600円に
〃 委員…(〃)	32,000円を	41,600円に
監査委員…(〃)	43,000円を	55,900円に
選管委員長…(〃)	25,000円を	32,500円に
〃 委員…(〃)	20,000円を	26,000円に

(上記議員までの改正アップ率は平均25%で、郡内各町村統一です)



# 困難な社会状況の中にあつて

## 町民のしあわせを求め

## 新たな前進を決意

松之山町長 佐藤重孝

あけまして、おめでとうございます。

昭和四十九年新年を迎え、町民各位のご健勝を心からお祝い申し上げますとともに、平素から町政に対する、ご理解と、ご支援に対し深く感謝申し上げます。

さて新しい年は、そつ直に申しあげまして、すべての面においてまことにきびしい年と思えてなり

ません。

石油危機、モノ不足という経済情勢に直面して、政府は、総需要抑制のために、国の予算規模の実質縮少を図るとともに、地方財政についても修正を迫っている。

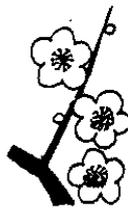
地方交付税の減税あるいは地方債を財源とする事業の繰りのべなど、こうした事情のなかにあつても山積する行政需要にどのように

対処してゆくか、これから新年度予算と事業計画に取り組むにあたり、事業についても財政運営についても、きびしく洗い直す必要がでてくるのではないかと憂慮いたしております。

とにかく新年度は容易でない難儀な年だと思っておりますが、このなかを町民のしあわせを求めてこの難関をのり越えて、前進する

決意を新たに、大いにがんばる所存でございますので、どうかことしもよろしくご支援ご協力を賜りたく、衷心よりおねがい申し上げます。

あけ年頭のごあいさつといたしま

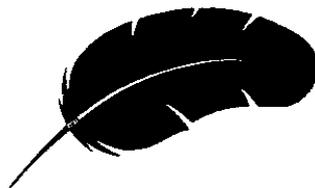


## しあわせをみんなに — 協力ありがとうございました

### 歳末たすけあい募金

募金額 435,113円

モチ米 322kg



昨年十月から行なわれた、赤い羽根と歳末たすけあい募金は、目標額の三十八万一千七百円に対し五万三千円も多く、町民のみならず、ご協力をいただきました。

さつそく福祉事業に、ねたきり老人や長期療養者、心身障害者、生活に困っている人達に慰問させていただきました。

一般質問(要旨)

一般質問は、三議員が質問にたち、おもな要旨及び答弁は次のとおりで、発言は通告順です。



久保田勇策議員

石油危機により除雪、圧雪計画と干害対策について

一、最近の石油不足から除雪、圧雪の確保に燃料の確保が心配されていますが、県、町では、いかに克服して通学、通勤、患者輸送、その他災害に対処できるか伺いたい。

二、干害対策について、町は当初最大限の努力をし、関係機関に働きかけたが、途中、中だるみの感があり、おくれればせながら県に陳情され、激甚災害の申請にまでなりましたが、補助金を災害者に配分する段階で問題も出てくることを感じられる。正直者はバカをみるものではないよう、当局も検討されるものと考えますが伺います。

町長佐藤重孝答弁

一、除雪計画に対し一番心配しているのは、燃料確保であり、町村

会でも、この問題について努力しておりますが、国で石油需給適正化に関する法律も通過したので、

除雪燃料は確保できると思いますが、絶対大丈夫とはいわれない、

また除雪にあたって人命が第一です。ので、危険をおかしてまで計画どおり実施することはできません。

二、干害対策について心配されるのは、最後の仕上げであり、今後十分留意するなかで、部落の意向も聞き、これからの仕事にあたっていききたい。



相沢善一議員

干害、自然休養村、除雪対策について

一、干害に対し申請されない部落があるが、申請されない部落を何とか救う手はないか、また激甚災害にまで努力されたことに感謝しているが、松之山は郡内で何番目の被害額で査定額など伺いたい。

二、自然休養村について、四十九年度から実施に入るが、計画はどの程度進められているか伺いたい。三、除雪体制について、荒ばい除雪をしておく、交通事故の心配もありますので、十分注意して除雪にあたってもらいたいし、一月十五日までは豊原峠まで除雪され

るが、津南町の除雪はおそく車が通行できないので、時間を合せて両町の除雪を有効にしてもらいたい。

四、三省校の屋根ふきかえ工事が予算化されていたが、まだ実施されていませんが、四十九年度には是非お願いしたいので伺います。

町長佐藤重孝答弁

一、干害対策について国の査定を受けられないものは、県単、町単にあてはまるものは対象にしていきたくい。郡内の査定額については産業課長により答弁いたさせます。

二、自然休養村の事業は、二次構造事業とからみあうために、むずかしいので、農林省の機構内において独立した予算形式にすべく関係町村で運動している。本日この大会が東京で開催され、助役が出席しています。計画進行については産業課長から答弁いたさせます。

三、除雪について指摘されたことと、また鹿渡間の除雪の件は、関係機関にお願し、善処したい。

四、三省小学校の屋根ふきかえについては、執行者のミスで実施しなかったことを申し訳なく思っています。四十九年度は実施したい。

産業課長保坂近良答弁

一、郡内の干害査定額は、安塚町二億八千五百万円、蒲川原村二千七百万円、松代町四千百万円、大島村三千三百万円、牧村一億六千九百万円、松之山町八千二十七万

円で、当町は郡内三番目です。

二、自然休養村計画については、九月に部落入り懇談会を計画しましたが、干害と重なりたな上げ状態で、机上の計画で事務を進めてきた、これから具体的に仕事を進めて、年明けとともに部落に出て懇談したいと考えています。



滝沢重介議員

簡水、賃金報酬改正、町の土地買上げについて

一、松之山簡水工事は単年度事業であり、現在五十二％の進捗状況で、降雪のため工事を中断しているが、雪の中でできる作業は進めてもらいたい、工事の見通しを伺います。また水源確保には、ボーリングをして経費をかけるより現在の集水井の水を利用した方がよいし、建設委員会の意見を取り入れて進めてもらいたい。

二、賃金改正について、年度途中では始めての賃金改正を区長会で男二千五百円、女千八百円に決めたが、賃金協定は使用者が決めるのではなく、働らく者の意見も十分取り入れて民主的な地場賃金協定を願いたい。

三、内職賃金について、蜂づくり内職賃金は低すぎるので、町であ

つせんすべきでない。一日千円以上の内職をさがしてもらいたい。

四、松之山地すべり詰所の臨時雇賃金は安いので、町の賃金協定で支払われるよう県に要請したい。

五、役場の臨時雇には、待遇に差が手当の関係にあるので、内規をはっきりしてもらいたい。

六、三役以下非常勤特別職の報酬を年度途中改定はかってないことであり、四月からの実施に検討してもらいたいし、松之山は助役の報酬だけ郡内より高いが、今回は一律になったか、高い理由を伺いたい。

七、町長の役場退場は、早いのではないかと、事情はどうか伺います。

八、医師の往診を依頼したら、往診ハイヤー料金を請求されたが、診療所には車があるので、町で負担すべきではないか伺います。

九、燃料確保について、燃料危機のないよう確保と、圧雪回数を減らすことのないようお願いしたい。

十、土地買取について(登記所前)町が個人から土地を町の駐車場の目的で買収し、一部を県に転売しているが、地主とどのような折衝で買収したか、金額はどのように決めたか、実情お聞かせ願いたい。

町長佐藤重孝答弁

一、簡水工事については滝沢議員も建設委員で、内容を承知ですがこの雪の状態では工事は無理なの(四頁につづく)

# 12月定例議会に提出された議案

- ◆昭和48年度松之山町一般会計補正予算（第4回）
- ◆松之山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◆松之山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆松之山町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆松之山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例
- ◆昭和48年度松之山町国民健康保険特別会計補正予算（第4回）
- ◆昭和48年度松之山町湯本簡易水道事業特別会計補正予算（第1回）
- ◆昭和48年度松之山町松之山地区簡易水道事業特別会計補正予算（第2回）
- ◆昭和48年度松之山町湯山簡易水道事業特別会計補正予算（第1回）
- ◆新潟県町村人理事務組合を組織する地方公共団体の数の増減および規約の変更
- ◆新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加および規約の変更
- ◆昭和48年度における期末手当の割合等の特例に関する条例
- ◆里山再開発東山団地の作業道を東山部落まで延長に関する請願書（東山部落長他）
- ◆町道由尾田麦立線道路延長に関する陳情書（田麦立部落長他）
- ◆招魂山参道改修に関する陳情書（松之山町遺族会長他）
- ◆松里小学校校舎改築に関する陳情書（松里地区協議会長他）
- ◆1月2日、3日ならびに祝日の郵便配達廃止に関する決議

で、中断の型をとり、一カ月工事をのばす方向で措置した、業者から工程表の提出を求め四月中には終了することを考えています。

2、賃金改正は年度途中改正は前例のないことですが、皆さんの意見を聞いて、当初二百円のアップを三百円に決めさせてもらった。四月からの賃金協定は民主的にやってきたつもりですので、了承願いたい、よい知恵があればはいしやくしたい。

3、内職については考えてみます

4、地すべり詰所の賃金が安いとのことですが、初めて聞きますので県に話し合ってみます。

5、臨時職員の賃金に差があることについては総務課長に答弁いたさせます。

6、報酬等の改正については、審

議会の客中を反映すべき考えで、県下の各町村も一月から引上げをやっており、すでに郡内各町村では議決されているので了承願いたい。助役の給与が高かったのは、一般職員とのつりあいが高かったが、今回から郡内一律となった。

7、私も体の調子が完全でなく、夜発作を起すことがあり、医師の指示に従い、歩くことが一番困難であるので、ジープで送り迎え利用させていただいている。

8、往診ハイヤー料金については社会課長から答弁いたさせます。

9、燃料確保の問題は、行政サイドでは解決できない、県では知事が業者に陳情している状態であり確保に努めたい。

10、土地買収については、春雪のあるうちから助役から骨折っても

らい地主との話し合いで決めさせてもらったが、さらに細かいことはどういう実情だか、助役が帰った時点で相談してみます。内容について総務課長より説明いたさせます。

◆総務課長保坂誠司答弁

5、長期臨時雇はなるべく廃止し正規に公募した職員を採用することに努力していますが、本年の場合内規に従い年末に三カ月以上勤務した職員に手当を支給したが、期間の問題点に不公平が生ずる恐れがあるので、明年度からは手当相当分を日給に組入れて手当は一切支給しないことを考えていきます。

◆社会課長渡辺庄二答弁

8、医師の往診は、運転手がこれに従事することになっているので

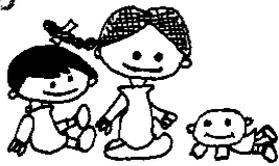
当然車代は町が負担すべきものであり、実情はどうか診療所と話し合ってみます。

◆総務課長保坂誠司答弁

10、町が買収した土地は台帳面積八百八十九㎡で、雪の上だったため二筆全部を一切で百五十万円で買収しております。県の高校教員住宅の敷地として提供することが本決りとなり、道路拡張分を差引いて道路に面した平らな所を坪当り六千円で五百三十一㎡売却しております。宅地は道路を整備し車が入れるようにすることにより高くなるものであり、県と話し合いの上で売却しております。

## 家庭とこどもの、しあわせのために——

**児童手当が**  
こしの4月から  
支給範囲が  
さらにひろが  
ります。



- 長女（十七才） 県外に居住中
  - 長男（十五才） 中学生
  - 二男（十三才） 小学生
- 支給対象になる児童年令は、今まで十才以下でしたが、今年の四月からは中学を卒業するまでの児童に改正されました。該当者には、二月中に請求されるように案内いたしますが、もれる方もあるかと思いますので、あらかじめご承知願います。
- 次のように長女が、自宅にいないでも該当します。



△下殿池協業桑園 (面積3ha)

二十二年ぶりの大干ばつは、町内の水田約七十%、五百七町歩がひあがり、枯死寸前まで追い込まれました。  
しかし、その後少しづつの雨で持越し、息をつなぎ八月二十日まで三割以上で、被害申告は少なからず、九月五日から損害評価員による調査を始め、干害で完熟できないのではないかと心配はあつた。



少なかった水稲被害面積

だが、現地圃場に入ってみると、少しは実は細っているが、実は入っていました。

被害面積百四十七アールの内、一番がフジミノリで四十四アール全体の三十%、二番が越ミノリで二十六アール十七%、三番がホーネンワセで二十四アール十六%でありました。

被害戸数は三十二戸で、減収量千二百三十二キログラム、支払共済金十六万六千円で、十一月三十日各農家にお支払いしました。問題は、今年の作付が心配されるが、農家を守る完全補償運動と取り組むなかで、災害の補償を完全にし、安心して農業ができる農家のために、農業共済事業を設立したいものであります。

干害被害が大きかった協業桑園

干害は畑作物にも被害を与え、下殿池の協業桑園三百四十アール天水越の協業桑園四百アール、内下殿池の桑園では、枝杖が伸びず晩秋蚕期に四十七箱掃立できず、塩沢から買い桑を、条桑で二千キログラム購入し、上簇できました。損害評価は、県連合会の評価委員はじめ、町の評価委員により調査が行なわれ、今後の対策について指導があり、畑作には保水対策として、堆肥を多く敷き入れるよう指導がありました。被害は繭の減収量五百三十五キ

ログラム、支払共済金十九万九千七百五十円を十二月二十四日に農家にお支払いしました。

干害に役立った耕地地図

四十八年度の共済事業で、町内全耕地地図(更正図)を写真にとりコピーできるようにしたものを県費補助で千二百枚ほどの原図ができあがり、いつでも小字ごとに青写真ができるようになりました。この地図が、今回の干害により

三千枚ほど必要になり、国の補助申請、県の補助申請に使用され、また、皆さん方の小規模基盤整備事業(田ならし)に使用され、広く活用していただくよう期待しております。

葉たばこ最高反収二十三万円に

昨年の葉たばこ収穫にも驚異的な干害にあつて、結果は平均反収で、左表のように十六万九千円にとどまり、しかも反収二十万円の

耕作者が五人にもなりました。耕作者はホクホク顔で新年を迎えて、早くも今年作に闘志を燃しております。生産、流通、価格は農業には欠かすことができない、重要な三本柱が確立している葉たばこは、手間がかかるとはいえ、今後も山間地農業には欠くことができない。重要な作物として存在していくようです。もう一度、葉たばこを見なおしてみたいかがでしょう。

年次別葉たばこ耕作概要表

項目	昭 44年	45	46	47	48
部落数	22	20	19	17	16
農家数	64戸	57	52	49	42
耕作面積	1,035.0	1,057.2	1,001.5	995.3	891.6
総量目	2,4859.0 <sup>kg</sup>	25,796.0	20,874.5	23,884.5	21,207.5
収納代金	11,255,915 <sup>円</sup>	13,302,675	10,783,375	14,390,475	15,145,135
1kg当り代金	453 <sup>円</sup>	516	517	603	714
10アール当り平均量目	240 <sup>kg</sup>	244	208	239	238
〃 収納代金	108,753 <sup>円</sup>	125,829	107,672	144,584	169,865
〃 量目最高	308 <sup>kg</sup>	317	290	300	317
〃 〃 最低	127 <sup>kg</sup>	132	85	178	75
〃 代金最高	146,198 <sup>円</sup>	169,679	157,348	182,901	231,773
〃 〃 最低	38,958 <sup>円</sup>	54,604	43,068	95,151	52,382
1戸当り 収納代金	175,894 <sup>円</sup>	233,380	207,373	293,683	360,598
〃 耕作面積	16.2 <sup>a</sup>	18.5	19.3	20.3	21.2

10アール当り 階層別人員

円	5	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	23
人数	1	1	1	2	2	1	3	6	7	6	5	1	3	2	1



### 統計から見た 松之山の保健衛生

48年の1月から12月までの出生、死亡を調べてみると、出生56人、死亡76人であり、これを全国率でくらべてみると、出生率は、全国19.5%、松之山8.5%であり、死亡率は、全国6.6%松之山11.8%となっています。

これからすると松之山は自然増加はなく、大巾な自然減少がみられます。また死亡した人の統計をみると、70%が成人病による死亡であります。

1位脳卒中、2位心臓病、3位ガン4位自殺、5位肺炎気管支炎、事故老衰となっていて、上位3位までは、成人病となっております。

当町では人口の老令化が他より進んでいるため、当然そうなるのではないかと考えられます。

しかし60才以下のまだ働き盛りの人が、34%も亡くなっていることをみると、まだまだ改善できる点が残っているのではないだろうか、それにはまず自分自身の健康管理をし、病気の早期発見のため健康診断を受け、早期に治療するよう1人1人が心がけることが大切です。

## エネルギー・物不足で きびしい出稼



干害で大変な思いをして、つかの間もなく出稼に出発し、最近になく出稼求人が多く、待遇も良かったものの、十二月からのエネルギー不足、物不足等で、どうしても一番先にしわ寄せを食うのは出稼者であり、正月帰省を迎えるにしても、会社等を断られるのではないかと心配いたしました。

正月前はそのような人が一人も出なくホットいたしました。

新潟県人、特に松之山の出稼者は評判がよく、まじめに良く働くことで有名です。その賜と思えます。

正月帰省バスで、上野へ集って来る出稼の皆さんに、燃料不足の

影響はと聞きますと、異に同音に相当ひびいているが、首になるようなことはないといっております。

今年の帰省バスは、まれな豪雪に見舞われ心配されましたが、町の除雪センター、安塚土木、松代土木事務所の日夜並々ならぬ努力とご協力によりスムーズに、帰省再赴任バス合わせて二十四台の運行が無事なされました。

特に今年は、出稼援護事業でバス代金の補助等を行ったせいでしょうか、年より百二十名位多くの皆さんが帰ってきました。

これから四月中旬まで全く長い間、留守家族と別離の生活で、なかなか大変です。その淋しい気持ち

を少しでも慰やすため、町では子供の作文をたくさん寄せた「ふるさとだより」や、町の広報等を送ります。

また五人以上就労している事業所へ、新潟日報を送っております。二月三日には東京で、三月三日には名古屋でそれぞれ出稼リーダー懇談会を開催します。

また今年も十五事業所へ伺い出稼者の皆さんと懇談会を開きます。新潟県で関東や関西へ出稼相談員を配置し、出稼者が困ることや事故等の相談に当たっております。

三月中旬ごろからは、出稼先訪問の報告を兼ねて、町の相談員と一諸に部落の留守家族の皆さんと懇談会の計画をいたしております。今後一番心配される事はエネルギー不足、物不足による不況で出稼される皆さんが路頭に迷うような事がなければと心配です。

(職業係)

## 戸籍の窓



### 赤ちゃんおめでとう

小野塚浩一(武彦・長男) 中坪  
高橋 広助(忠司・長男) 湯本  
滝沢 豊和(克巳・二男) 天水越

### ご結婚おめでとう

新居：橋 詰(麗居)  
村山 聡(31才) 湯本 12・12  
竹内小夜子(23才) 坂 中  
新居：湯本(自動車整備工場)

### おくやみ

松沢 ロス(83才) 湯山・坂中  
津端 キワ(89才) 光間・中屋  
高橋 勇蔵(83才) 天水島・茶屋  
石塚 ワカ(90才) 田麦立・横道  
石塚喜三郎(57才) ヶ・てっぺん  
高橋巳之作(80才) 黒倉・中林  
布施 セキ(87才) 黒倉・宮先  
高橋伊太郎(71才) 天水島・中林  
高橋 タイ(86才) 天水島・店  
早川 龍治(69才) 北浦田・大下  
相沢 クニ(82才) 水梨・三枚田  
相沢 クメ(88才) 水梨・新屋  
本山 ハル(55才) 田麦立古屋敷  
小野塚清一郎(71才) 東川・橋場  
相田 栄八(63才) 大荒戸・横手  
山岸与喜一(81才) 新山・紺や  
高橋 寅市(73才) 中尾・山根  
鈴木 イツ(78才) 下鯉池・新や

山岸 昭一(27才) 新山 11・7  
小野塚加代子(21才) 上鯉池  
佐藤 眞士(25才) 天水越 11・7  
佐藤美千江(24才) 中山立  
相沢 正平(22才) 小谷 11・10  
小野塚美代子(23才) 藤 倉  
新居：小谷(水上)  
佐藤 文明(23才) 天水島 11・14  
志賀さち子(21才) 松口  
村山 洋子(25才) 橋 詰 11・22  
哲男(28才) 橋 詰

以上10月から12月までの届出分で、町に住所のあるものについてのみ登載いたしました。